

各教科の見方・考え方（中学校編）

国語	言葉による見方・考え方（引用：文部科学省（2017）「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編」） 対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること
社会	地理的な見方・考え方（引用：文部科学省（2017）「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編」） 社会的な事象を位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けること
	歴史的な見方・考え方（引用：文部科学省（2017）「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編」） 社会的な事象を時期、推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確にしたり事象同士を因果関係などで関連付けたりすること
	現代社会の見方・考え方（引用：文部科学省（2017）「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編」） 社会的な事象を政治、法、経済などに関わる多様な視点（概念や理論など）に着目して捉え、よりよい社会の構築に向けて、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けること
数学	数学的な見方・考え方（引用：文部科学省（2017）「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 数学編」） 事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合的・発展的に考えること
理科	理科の見方・考え方（引用：文部科学省（2017）「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 理科編」） 自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考えること
音楽	音楽的な見方・考え方（引用：文部科学省（2017）「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編」） 音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連付けること
美術	造形的な見方・考え方（引用：文部科学省（2017）「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 美術編」） 表現及び鑑賞の活動を通して、よさや美しさなどの価値や心情などを感じ取る力である感性や、想像力を働かせ、対象や事象を造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくりだすこと
保健体育	体育の見方・考え方（引用：文部科学省（2017）「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 保健体育編」） 運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けること
	保健の見方・考え方（引用：文部科学省（2017）「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 保健体育編」） 個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること
技術・家庭	技術の見方・考え方（引用：文部科学省（2017）「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 技術・家庭編」） 生活や社会における事象を、技術との関わり方の視点で捉え、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性などに着目して技術を最適化すること
	生活の営みに係る見方・考え方（引用：文部科学省（2017）「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 技術・家庭編」） 家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること
外国語	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方 （引用：文部科学省（2017）「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語編」） 外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること